



相談窓口のご案内

- **ふくし総合相談窓口(暮らしの心配ごと相談)**
毎週月曜日～金曜日
8:30～17:15(祝祭日を除く)
※自宅や施設等への訪問も行っています。
- **アルコール学習会(断酒会)**
3月12日(水) 13:00～15:00
社会福祉協議会内 1階・団体活動ルーム
- **鹿角アディクション(依存症)問題を考える会**
3月19日(水) 19:00～20:30
福祉保健センター内 2階・会議室

◆メールでの相談も受付けております。fukushinosoudan@ink.or.jp

随時更新中です!
フォローお願いします。



公式X(旧 Twitter)
(@kazuno_shakyo)



まごころのご寄付

令和7年1月17日～2月14日受付分

このご寄付欄には、広報掲載の承諾を得た方をお載せしております。



- 〔香典返し〕
〔花輪地区〕
上台 児玉正人さんから亡父 忠治さん
川原町 瀬川政志さんから亡妻 ケイさん
大曲 山本光浩さんから亡母 キオさん
小平 兎澤百合子さんから亡夫 将一さん
〔十和田地区〕
中草木 黒沢書彦さんから亡父 金作さん
中野 赤坂久藏さんから亡妻 桂子さん
〔八幡平地区〕
三ヶ田 根本大作さんから亡父 良一さん
湯瀬 高畑直さんから亡妻 成子さん
三ヶ田 阿部聖さんから亡父 貞一さん
〔その他のご寄付〕
○比内支援学校かづの校から
プルタブ換金寄付として3千960円

○花輪四ヶ寺より寒修行の浄財金の寄付として2万円
○十和田中学校からアルミ缶回収活動により購入したシルバーカー3台のご寄付
※合計22万5千円ご寄付をいただいております。

皆様から頂きましたご寄付は、当会で実施している移送サービス事業などの各種福祉事業に役立てております。皆様からのご協力に感謝いたします。

日々の小さな積み重ねが地域のために

福祉用具贈呈式が行われました



去る2月10日に十和田中学校でシルバーカー贈呈式が行われました。十和田中学校では、「十和田魅力アッププロジェクト」に取り組み、廃棄になる野菜を使ったキーホルダーや地域の魅力をPRする缶バッジ、EM石鹸などを製作し、地域のイベントなどで販売しています。このほか、地域の事業所や各家庭へお願いをし、アルミ缶回収にも力を入れて活動しており、今回はこれらの収益とアルミ缶を換金し、シルバーカーを3台寄付していただきました。

ただ、いただいたシルバーカーは、福祉用具を必要とされている方々へ無料で貸し出しを行っている、介護機器無料貸出事業へ活用させていただきます。十和田中学校の皆さん、温かい善意をありがとうございます。



鹿角地域振興局職員(花輪地区)



鹿角市職員厚生会(尾去沢地区)



高校生(尾去沢地区)



鹿角広域行政組合消防職員親和会職員(八幡平地区)

除雪で地域貢献

～除雪ボランティアが活躍しています～

今年は、年末から大雪に見舞われ、年明けからボランティアによる除雪活動が行われています。これまで一人暮らし高齢者や障がい者世帯など6世帯で活動を行いました。

ボランティアの皆さんはお互いに声を掛け合いながら活動を行いました。

暖かい日もありますが、活動はまだ少し続きそうです。

除雪ボランティア協力団体

- 18団体 3個人 309名
秋田銀行(花輪支店・毛馬内支店)
鹿角市職員厚生会
鹿角広域行政組合消防職員親和会
鹿角地域振興局 八重樫建設株式会社
株式会社五洋物産 鹿角十和田建設技能組合
花輪建設業協会(10団体)

新規自治会 募集中

地域活動を応援します

～福祉のネットワーク活動へ取り組んでみませんか～

当会では、自治会を中心とした福祉のネットワーク活動を推進していますが、現在、新規に取り組むを行う自治会を募集しています。活動に取り組んでいる自治会では、住民同士が声掛けや見守り活動をおこなっているほか、定期的に介護予防体操や学習会を開催するなど、住み慣れた地域でいつまでも暮らしていけるように、福祉への理解を深め地域の福祉力を高めています。皆さんの地域でもネットワーク活動に取り組んでみませんか？

活動助成支援

新規自治会は3年目まで年間3万円の活動助成金を交付します。継続4年目以降は1万円の活動助成金を交付します。

活動支援

立ち上げに関するサポートを行うほか、各種勉強会での講師派遣等の活動支援を行います。

お問い合わせ 鹿角市社会福祉協議会 TEL:23-2165

3月 多世代交流スペース 行事予定

日時	内容
1日(土) 9:00～12:00	ひきこもり個別相談会※予約制
4日(火) 10:00～12:00	お茶を楽しむ会※注
12日(月) 10:00～12:00	パステルアート※注
17日(木) 10:00～12:00	季節の絵手紙※注
19日(水) 9:30～12:30	ぷら～っとカフェ

※注 材料の準備がございましたのでご予約をお願いします。

「お茶を楽しむ会」

～ひな祭り茶会に参加してみませんか?～

日時: 3/4(火) 10:00～12:00
参加費: 300円 定員: 先着10名

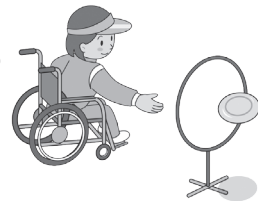
第12回「出張りと相談会 地域のつながりづくり事業」

日時: 3/26(水) 10:00～12:00
場所: 八幡平市民センター 多目的室
内容: スクラッチアート

【問合せ・申込先】 社会福祉協議会 TEL 23-2165



障がい者フライングディスク教室が 開催されました



去る2月8日、フライングディスクを通して障がい者の体力維持増強及び社会参加促進を目的に、大館市立比内体育館を会場に秋田県障がい者フライングディスク教室が開催され、鹿角市からは鹿角市身体障害者協会の会員が参加しました。

参加者からは、「フライングディスクは全身を動かす競技であり、体全体を動かすことで運動不足の解消になった」、「大館など他地区の方とも交流できて楽しかった」等の感想が聞かれました。



フライングディスクに初挑戦



試合も大盛り上がりでした

災害ボランティア養成研修会

～被災地や避難所において自分たちができることを一緒に考えませんか？～

参加費
無料

成年後見制度利用を考える研修会

～身寄りのない高齢者等の身元保証問題を考える～

近年、大雨災害や地震災害などが多発しており、いっどこで災害が起きてもおかしくない状況が続いています。このような中、災害発生時には現場に向きボランティアとして活動することや避難所での生活を支援するなど活動は多岐にわたり、地域住民同士の支え合いが必要になります。

今回の研修会では、被災地ボランティアとして何ができるのか、避難所を利用する方に関してどのような点に配慮すべきか、異なる立場の参加者同士で考えを出し合いながら、災害に備える地域づくりについて考えていきます。

日時 3月15日(土) 13:30～15:30

会場 鹿角市文化の杜交流館 コモッセ 講堂
内容 講義 「災害ボランティアや避難所における支援について」(仮題)
演習 「災害発生時に自分たちができることはなんだろう」(仮題)
～参加者同士で意見交換をしよう～
講師 李 仁鉄 氏 (特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)

※講義内容や時間については変更となる場合がございます。

【申し込みおよび問い合わせ】

各種研修会の申込は開催日の1週間前までに電話またはメール、FAXでお知らせください。
社会福祉協議会 TEL:23-2165 FAX:23-2850 MAIL:info@kazunoshishakyo.or.jp

65歳以上で配偶者や子など3親等以内の親族がいない「身寄りのない高齢者」が2050年に全国で448万人となる見込みであることが報道されました。高齢になるにつれ、医療や介護サービスを利用する機会が多くなり、その中でも施設や病院への入居・入院時求められる「身元保証人」のほか、亡くなった際に遺体の引き取り手がいない人が増える懸念があります。今回の研修会は、「身元保証と死後事務」について理解を深めていただくことを目的に開催いたします。

日時 3月22日(土) 13:30～16:30

会場 鹿角市文化の杜交流館 コモッセ 講堂
内容 報告 「鹿角市内の病院・施設等における身元保証・死後事務の現状について」
講義 「成年後見制度における身元保証と死後事務の実務」
講師 秋田弁護士会
高齢者・障害者問題対策委員会
委員長 藤原 美佐子 氏

生活にお困りで一時的に資金が必要な方へ

～生活福祉資金貸付制度のご紹介～

「病気になり収入が減ったため、子どもの進学費用が工面できない」、「就職が決まったけど初任給までの生活費が工面できない」など、一時的に資金が必要で生活にお困りの方へ、さまざまな用途に応じた資金貸付を行っています。このほか、必要な相談支援を行い、安定した生活を送れるようお手伝いします。



【生活福祉資金の一例】

資金の種類	内容
総合支援資金	転職、再就職等で生活再建までに必要な生活費
福祉資金	冠婚葬祭や福祉用具の購入、住宅の増改築などに必要な経費
教育支援資金	高校、専門学校、大学などの入学及び就学に必要な経費
緊急小口資金	緊急かつ一時的に、生計の維持が困難となった場合に必要少額資金

▶こんな時にご相談ください

進学先が日本学生支援機構の奨学金が使えない学校だった…
就職のために必要な運転免許を取得するお金がない…
就職準備に必要な経費が足りない…
福祉用具を購入したいけど費用が工面できない…



※日本学生支援機構等の奨学金制度や、母子父子寡婦福祉資金等の他制度の申し込みが優先されます。

※借金返済、支払済みの経費については対象外となります。

※申請後、審査がありますので貸付まで1～2ヶ月程度の時間を要します。

相談はいつでも受け付けております。お早めにご検討・ご相談ください。

【問い合わせ】 社会福祉協議会

TEL:23-2165 MAIL:chiiki@kazunoshishakyo.or.jp

『プルタブ』が福祉用具に生まれ変わるまで

当会では『プルタブ』を集めてリサイクルし、車いすなどの福祉用具購入費に充てています。購入した福祉用具は、在宅等で生活している高齢者や障がい者などに無償貸与しています。

本誌4ページに掲載している比内支援学校かづの校さんのほか、地域の皆様のご協力により、今回『歩行器』を購入することができました。

これまでの温かいご協力に感謝いたしますとともに、今後もプルタブ収集活動を続けてまいりますので、引き続きご協力くださいませうようお願いいたします。

◎介護機器無料貸出事業◎

【貸出対象品目】

- ・車いす
- ・歩行器
- ・シルバーカー など

※ポータブルトイレは感染症対策から貸出を終了しています。



【注意点】

- ・貸出期限はありませんが、施設入所など必要なくなった場合にはご返却ください。
- ・利用料はかかりませんが、破損や汚れがひどい場合は修繕費や消毒代として実費負担していただく場合がありますので、ご了承ください。